

2015年5月15日

**新開発 1kW アンプや高剛性・重量級キャビネットを採用した
 ヤマハ A-YST* II サブウーファーの新たなハイエンドモデル**
ヤマハ サブウーファー 『NS-SW1000』

ヤマハ株式会社は、新開発の 1kW デジタルパワーアンプやツイステッドフレアポート採用の高剛性・重量級キャビネット、ダブルマグネット搭載 30cm ウーファーユニットなどにより、リアルで躍動的な重低音再生を実現するヤマハ A-YST II サブウーファーのハイエンドモデル「NS-SW1000」を 6 月中旬から全国で発売いたします。

*: アドバンスド・ヤマハ・アクティブサーボ・テクノロジー。空気そのものを振動板として利用する“エア・ウーファー”の考え方に基づいた、ヤマハ 独創の低音再生技術。

< 価格と発売時期 >

| 品名 | モデル名 | 色 | 本体価格 | 当初月産予定台数 | 発売時期 |
|---------|-----------|---------|--------------|----------|------|
| サブウーファー | NS-SW1000 | (B)ブラック | 200,000円(税抜) | 1,000台 | 6月中旬 |

< 製品の概要 >

今回発売する「NS-SW1000」は、1kW の大出力を誇る大型アナログ電源搭載のデジタルパワーアンプ、ポートノイズを大幅に抑制する独自技術「ツイステッドフレアポート」を備えた高剛性・重量級エンクロージャ* (キャビネット)、振動板材質から本機専用開発したダブルマグネット搭載 30cm ウーファーユニットなどを採用したヤマハ A-YST II サブウーファーの新たなハイエンドモデルです。当社が四半世紀にわたり磨き上げてきた独自技術「YST」(Yamaha Active Servo Technology) 方式の可能性を極めたひとつの集大成として、俊敏なレスポンスとスケール感とを妥協なく兼ね備えた、リアルで躍動感に満ちた重低音再生を実現しました。

*: スピーカーユニットを納める筐体。

【主な特長】

1. ヤマハオリジナルデバイスや大型アナログ電源などにより、圧倒的パワーと表現力を両立する 1kW デジタルパワーアンプ
2. ポートノイズを防いで低音のレスポンスを高め、A-YST II 方式のメリットを最大限に引き出すツイステッドフレアポート
3. 正確でパワフルなロングストローク駆動を実現するダブルフェライトマグネット採用 30cm ウーファーユニット
4. 操作性やデザイン性にも優れたフロントオペレーション方式の高剛性・重量級エンクロージャ
5. 幅広い使いこなしに応える B.A.S.S.モードスイッチとシステムコントロール端子



【NS-SW1000 主な特長】

1. ヤマハオリジナルデバイスや大型アナログ電源などにより、圧倒的パワーと表現力を両立する 1kW デジタルパワーアンプ

最新世代のヤマハ製デジタルアンプデバイスを中心としたドライブ段と、大電流 MOS-FET によるディスクリート構成プッシュプル出力段とを組み合わせた出力 1kW のデジタルパワーアンプを搭載しました。電源部には、フラッグシップ級 AV アンプのメイン電源にも匹敵する単体質量約 10kg の EI コア電源トランスや大型ブロックケミコンを投入したこだわりの大型アナログ電源を採用。圧倒的なパワーと表現力の豊かさを両立しています。



左:単体質量約10kgの大型EIコア電源トランス/右上:新世代ヤマハ製デジタルアンプデバイス/右下:アナログ電源回路を一体化したデジタルパワーアンプ部

2. ポートノイズを防いで低音のレスポンスを高め、A-YST II 方式のメリットを最大限に引き出すツイステッドフレアポート

バスレフ方式エンクロージャの宿命であったバスレフポート両端でのノイズ(風切り音)を低減させるとともに、低音のレスポンスをいっそう高めるヤマハの独自技術「ツイステッドフレアポート」を採用。空気を振動板として利用する「エア・ウーファー」の原理に基づき、サイズを超えたスケールの重低音再生を可能にする A-YST II 方式のメリットを最大限に引き出します。



3. 正確でパワフルなロングストローク駆動を実現するダブルフェライトマグネット採用 30cm ウーファーユニット

大径のフェライトマグネットを 2 枚重ねてボイスコイルの大振幅化と磁束密度の強化を果たすダブルフェライトマグネット、耐熱性に優れたガラス繊維系ボビンを使った 4 層巻ボイスコイル、エアベント付きダブルダンパー、高剛性アルミダイキャストフレームなどの採用で、正確かつパワフルなロングストローク駆動を可能にする 30cm 口径ウーファーユニットを本機のために新開発。振動板には、伝統的なペーパーコーンをベースにケブラー繊維を配合して剛性と内部損失とのベストバランスを求めた専用設計のセミプレスペーパーコーンを投入し、小音量時から大音量時まで音のデリカシーを失わない、リニアリティに優れた再生音を実現しています。



ダブルフェライトマグネット、エアベント付きダブルダンパーを採用した新開発ユニット

4. 操作性やデザイン性にも優れたフロントオペレーション方式の高剛性・重量級エンクロージャ

キャビネット部には、25mm 厚(バツフル面 36mm 厚)の木質系素材をヤマハ伝統の総三方留め(そうさんぼうどめ)構造で強固に組み上げた高剛性・重量級エンクロージャを採用。不要共振を抑え込む強固な構造と、底面に取り付けた鉄製レッグなどによる音質チューニングとの相乗効果によって、ハイエンドクラスのシアターシステムやマルチチャンネルオーディオシステムにふさわしい重低音の品位を目指しました。また、大型の音量調整ノブと電源ボタンを本体前面上部に配置し、サブウーファー音量の微調整や電源オン/オフがワンアクションで行えるフロントオペレーション方式の操作スタイルにより、シアター観賞中の使いやすさをさらに向上。ブラックヘアライン仕上げのアルミフロントパネルやアルミ製ノブ/ボタンをあしらった、上質な触り心地とデザイン性も兼ね備えています。



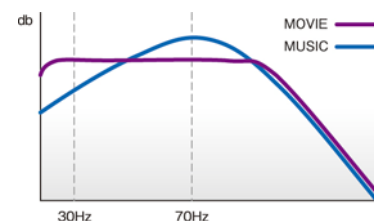
映像の映り込みが少ない、光沢を抑えたエンボスラミネート仕上げ



ヘアライン仕上げのアルミフロントパネルとアルミ製の大型音量調整ノブ

5. 幅広い使いこなしに応える B.A.S.S.モードスイッチとシステムコントロール端子

超低域までのフラットレスポンスで映画の効果音や環境音を忠実に再現する「MOVIE」、音楽のベースとなる帯域に適度な厚みと力強さを与える「MUSIC」の2モードの低域再生特性が選べる B.A.S.S.モードスイッチ、システムコントロール機能を備えたヤマハ製 AV アンプなどと連動して本機の電源をオン/オフできるシステムコントロール端子を装備。幅広い使いこなしに応えます。(システムコントロール専用ケーブル付属)

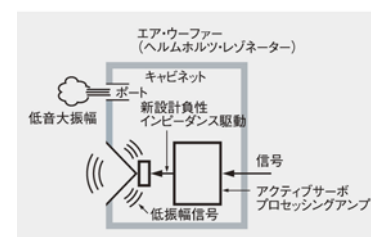


B.A.S.S. モードの周波数特性

<参考>

サイズを超えた重低音再生を実現するヤマハの独創技術、A-YST 方式

空気そのものを振動板として利用する“エア・ウーファー”の考え方に基づき、小型キャビネットでも大型スピーカーと同等の重低音再生を可能にするヤマハの独創技術=A-YST方式。1989年の発表以来、これまでの一般的なアンプ内蔵サブウーファーとは次元の違い、そのリアリティ豊かな重低音でホームシアターの臨場感を変革してきました。この A-YST 方式は、現在ではユニットの f_0 (最低共振周波数) 以上の周波数帯域を定電流駆動化させる新設計回路の採用によって重低音のスピード感とクリアネスをさらに改善した A-YST II 方式へと進化。コンパクトモデルの YST-SW010 (従来型 A-YST 方式を採用) を除くヤマハのサブウーファー全機種に A-YST II 方式を搭載しています。



A-YST II方式 動作原理図

【その他の特長・機能】●本機のウーファー出力の正相/逆相を選択できるフェイズ切り替えスイッチ●無音状態が一定時間続くと本機の電源がオフになりスタンバイ状態に移行するオートスタンバイ機能●スタンバイ時消費電力0.3W以下の省電力設計

【NS-SW1000 主な仕様】

| | | |
|---------------|---|--|
| 型番 | NS-SW1000 | |
| 型式 | A-YST II 方式非防磁型 | |
| 出力 | 1000W (100Hz、4Ω 10%T.H.D.) | |
| 特徴 | 高効率デジタルパワーアンプ、ツイステッドフレアポート | |
| スピーカーユニット | ウーファー | 30cm コーン型 |
| 再生周波数帯域 | 18Hz～160Hz | |
| 入力部 | INPUT1:スピーカーターミナル、INPUT2,3:RCA ピンジャック | |
| 入力インピーダンス | スピーカーターミナル:2.2kΩ、RCA ピンジャック: 12kΩ | |
| 操作部 | フロント | スタンバイ/ON スイッチ、音量調整ツマミ、LED インジケータ |
| | リア | 主電源スイッチ、オートスタンバイ/感度スイッチ、位相スイッチ、B.A.S.S.モードスイッチ、ハイカット周波数調整ツマミ、システムコントロール端子(ヤマハ AV アンプとの電源連動に対応) |
| 消費電力 | 160W | |
| スタンバイ時消費電力 | 0.3W 以下 | |
| 外形寸法(幅×高さ×奥行) | W443×H463×D522mm | |
| 質量 | 42.6kg | |
| 付属品 | 電源コード(2m)、サブウーファー用ピンケーブル(5m)、システム接続ケーブル(5m) | |



ヤマハ サブウーファー 『NS-SW1000』 カラー:(B)ブラック
本体価格 200,000 円(税抜)

※NS-SW1000 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ サブウーファー 『NS-SW1000』
http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/speaker-systems/subwoofers/ns-sw1000_black_j/

この件に関するお問い合わせ先
ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ
窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部
お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)